

京都教区時報

Home Page <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/catholic/>

2頁 滋賀地区湖西ブロック共同宣教司牧

6頁 司祭人事一覧

発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区河原町
三条上ル
カトリック会館
FAX
075-211-3041
「教区時報」宛と明記

点訳版「京都教区時報」(無料)
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまで申込みください。
TEL・FAX 0794-31-8601

第二バチカン公会議以降の 教会のあゆみ

公会議以前、「福音宣教とはキリストを知らない人々に教え、説教し、カトリック要理を説き、洗礼その他の秘跡を授けること」と定義されました。

的で、いろいろな次元や要素が含まれている豊かな現実であると、教会は公に宣言しました。

ですから、「福音宣教」はただ単に宣教の地理的領域を拡大して、より多くの人々に布教することに限定されるのではなく、神のみ言葉と救いのご計画にそむく人間の判断基準、価値観、関心のまと、思想傾向、観念の源、生活様式な

どに福音の力によって影響を及ぼしそれらをいわば転倒させることもあります。神について、イエスについて、聖書についての知識を身に付け、信じますと宣言して洗礼を受けるだけではなく、考え方、価値観などを全部変えなくてはならないのです。

(写真は第一バチカン公会議全体会議です)



8
2001

滋賀地区湖西ブロック

信徒から見た共同宣教司牧

湖西ブロック担当 岩崎 章太郎

滋賀県では現在、六つの小教区があります。三十数年前、滋賀県連合会が結成され、多くの行事を企画、実践してきました。そして個人やグループでは、小教区の壁を越えてボランティア活動や、環境問題、聖書研究など、信徒の交流も芽生えてきたところです。

そして昨年、湖東と湖西地域にそれぞれ三つの小教区が、一つの共同体として発足しました。

このブロック共同体とは、一体何を意味するのでしょうか？ どんな行事や活動を行う場合でも、参加する信徒がハッキリとした目的と、意味を、心の中で充分納得しない限り、喜びとか、大きなエネルギーにはならないでしまう。むしろ苦痛を感じます。

司教様の年頭書簡の中で、その理由を書いています。ブロックの共同体は、教会共同体の刷新運動づけています。そして、それをするには一人ひとりの信仰改能に

革が欠かせないと。また、共同体で何かを企画・実行する時には識別が大切である、と述べられています。「その通りだと思います。

問題は、このむつかしい言葉のほんとうの意味を、全信徒の何割の人が理解出来ているかという点です。一共同体とは、独りの信徒も漏れなく、共に…というのがテーマです。

このむつかしい司教様の文章を理解出来ている信徒はすでに、完全でなくとも識別を心掛け、完全でなくとも福音宣教を実践している人達です。しかしそれは、個人であり、一人ひとりであって、共同体ではないのです。共に司牧し合う、とは言えないのです。

この共同司牧に関して、私個人としては逆の発想をしています。つまり、何か行動するための共同司牧ではなくて、何かを企画する段階で、何かを行動する途中で、共に司牧し合うことが大切だと考えています。

私は含めて多くの信徒は、今まで自分から、神様に向かって大きくなりたいと願っています。でも実際、何をどうすればいいのか、具体的にハッキリ見えてこない。何年も或いは何十年も迷っています。そうした状況を一步前進させるために、この共同司牧を使うべきだと思います。そのために共同司牧に臨むにあたり、信徒一人ひとりが自分にあった、具体的な課題を自分自身で設定するのも一つの案だと思います。

例えば、私は識別に関して次のような課題を心掛けています。この共同司牧に関して、私個人としては逆の発想をしています。つまり、何か行動するための共同司牧ではなくて、何かを企画する

つまり、共同宣教司牧を実践する中で、司教様の、あの年頭書簡の意味を、全信徒が理解し合う場にしたらと思っています。そして全信徒が、福音に生きることを学び合うことだと思うのです。ですから役員とか、一部の信徒だけではなく、出来るだけ多くの信徒が係わる活動を、企画するのがよいと思います。

私は含めて多くの信徒は、今まで自分から、神様に向かって大きくなりたいと願っています。でも実際、何をどうすればいいのか、具体的にハッキリ見えてこない。何年も或いは何十年も迷っています。そうした状況を一步前進させるために、この共同司牧を使うべきだと思います。そのためには共同司牧に臨むにあたり、信徒一人ひとりが自分にあった、具体的な課題を自分自身で設定するのも一つの案だと思います。

異なる歴史を歩んできたそれつまり、何か行動するための共同司牧ではなくて、何かを企画する

違いから、対立することがしばしば生じます。そして怒ったり、傷ついたり不愉快に感じたりします。一その時が自分の信仰を成長させれるチャンスです。それを自分で意識することが大切です。誰でも、自分の正しさは、神の正しさだと

思いがちです。しかし神の正しさは、どちらが正しいかを競うではなく、互いに相手を理解し、受け容れ、自分の中の自我（エゴ）を見つめることを求めているのです。自分の中に生じた怒り憎みをはっきり意識して、それが自分中心（エゴ）から生じたものか、神のものかをはっきり識別することこそが、神に立ち返る一つの方法だと思います。自分のエゴに気づくもう一つの心は、自分の中にいるキリストだと思います。

また共同体の識別としては、成績や業績を誇るためのものではなく、多くの信徒が信仰を培う場となるかどうか、またボランティア活動を行う時、相手側の苦しい状況が、自分の内で共感できているか、み極めることも大切だと思います。

聖書講座シリーズ「はじめと終り」5 / 23 • 24

太祖物語のはじめと終り

来住英俊神父

深めてください。

物語」と呼ばれる創世記の三十九章までを、皆さんといつしよ

でいきたいと思います。物語といふのは多くの含蓄を含んでいるので、どうしても聴衆の前で話をすら時、一つの筋道だけを追ってしき、話にコントラストをつけてしまうことがあります。

「読んでみまし。」

ヤエアが四人の奥さんの中で
本当に愛した人ラケルの子供がヨ
セフとベニヤミンです。ヨセフは
末の息子で年寄り子でもあつたの

獄に入れられてしまいます。しかし、監獄の中には、とても神はヨセフとともにおりられたのでファラオの夢を解きます。このことでヨセフはもう一度、陽の光を浴びるようになって、エジプトの宰相

ヨセフのたくらみ

しかし、皆さんご自身が本文を読んでみると、講師が言うほどテーマとかポイントというものは明らかに見えてくるというものではないということを実感されると思います。自分で本文を読み、その中からにじみ出てくる味わいを少しずつ自分で得ていくこと、これが大事なことだと思います。本文を読

まないで、聖書講話だけを聴くと
いうのは実りの少ないことだと想
います。物語自身の中からその中
にある味わいというものを自分
自身で見分けていかなければなりま
せん。聖書講話とはそのための助
けとなるために話すことです。皆
さん自身が本文を読み、味わいを

ヨセフ、エジプトに売られる

ある日、兄弟達は相談し、荒れ野でヨセフを穴に落とします。その後、ヨセフは穴から助け出され旅の商人に売られます。一方で、兄達は父親にヨセフが野獣に殺されたと報告し、ヨセフが死んだと

いうことを父に思いこませることに成功します。

二人の子だけを偏愛する父を恨ん
できたが、その父を「そのままで

よい」と認め、ゆるします。

エジプトに売り飛ばされて買取られた先で、主人に目をかけられ運命が好転したかのように見え

嘆願するその姿に自分の葛藤の日々を終らせることができました。

この物語は十人の兄弟たちが父親を受け入れ、和解する物語として読むことができます。これは普遍的なテーマで、親をそのまま受け入れることは人生の大きな課題です。

ヨセフのたくらみ
兄達は世界的な飢饉でエジプトに穀物を買いに来たのですが、兄達をスペイ呼ばわりし、言いがかりをつけます。それは、異国の地で苦難の日々を過ごしたヨセフ自身が、どのようにこれまでのこと終止符をうち、自分の心にけりをつけるか、そのためねじ曲がつ

兄達は世界的の食糧で、ヨセフに穀物を買ひに来たのですが、兄達をスペイ呼ばわりし、言いがかりをつけます。それは、異国の地で苦難の日々を過ごしたヨセフ自身が、どのようにこれまでのこと終止符をうち、自分の心にけりをつけたことを言い、時を稼ぎます。そして、残されたラケルの子ベニアミンを連れて来いと命じます。ユダが必死になつてヨセフに嘆願します。ユダは、ヨセフに嘆願します。

いでしょうか。

しかし、これはこの豊かな物語を読む一つの筋にすぎません。ぜひ、自分の目でもう一度聖書を読んでください。

養成コース案内
『自己発見コース』シリーズ
自分づきあいの旅

カトリック
福音センター
ニュース

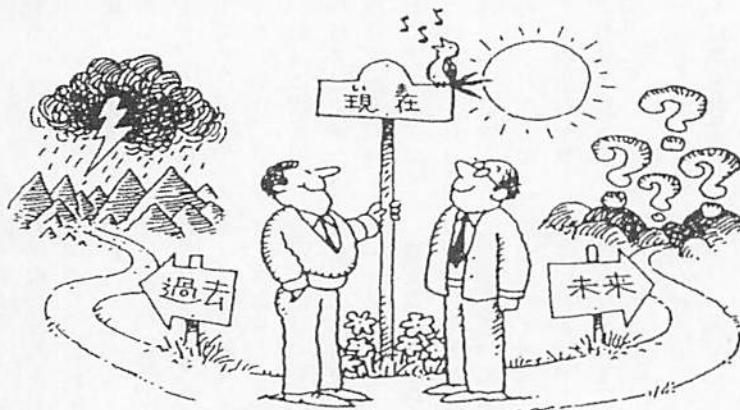


様々なかかわりの中で生きている自分。意識しようとしないと、常に何かを考え、感じ、思い、何かに向かって行動しています。

生活の流れの中で、その中心（主人公）である自分は何をどのように感じ、自分とどのようにかかわり、つきあっているのでしょうか。意識しているでしょうか。

流されるままでなく、立ち止まって耳を傾け、ありのままの自分に出会ってみませんか。

このシリーズでは、自分自身の在り方の深みに降りていくことによって“いま　ここで”の自分に気づき、あるがままの自分を受け入れることを学んでいきます。自分への旅につながるようなお話と体験を盛り込んだ企画でみなさまの参加をお待ちしております。



「現在」に生きれば「幸福」になれる

日 時 9月7日、14日、21日、28日（4回シリーズ）
 毎金曜日 午後1時30分～4時
 場 所 西院 カトリック会館 大ホール
 会 費 2,000円（全シリーズ）

申込方法 8月30日(木)迄に！

〒・住所・氏名・電話番号をご記入の上、参加費をそえて下記へお送り下さい。
 〒604-8855 京都市中京区壬生淵田町26 カトリック福音センター
 電話番号 075-822-7123 FAX 075-822-7020
 郵便振替口座の場合 14460-27065111 カトリックきょうと福音センター



イエスにとって御父とのかかわりは、本当の自分への旅でした

わたしたちの生涯に画期的な出来事があるように、イエスの生涯にもいくつかの決定的な瞬間がありました。これらの特別な『時』は、どちらかと言えば『イエスが誰であるか』ということに関係しているものです。

まず最初の出来事は、イエスが十二歳になって初めて過越しの祭を行った時のことです。

『どうしてわたしを捜したのですか。私が自分の父の家にいるのは当たり前のことだということを、知らなかったのですか』(ルカ2・49)

これは福音書の最初に記されている母マリアの思いつめた問い合わせに対するイエスの返答です。この言葉には、特に自分の父といって自分が神の子であるという強い意識があったのです。

洗礼もイエスにとって特別な時でした。神の声はイエスにとどき、イエスの正体を明かすのです。

「あなたはわたしの愛する子、私の心に適う者」(ルカ3・22)。

この言葉には、イエスの正体とその全生涯の方向が示されています。この同じ神の声が、この時だけでなく、イエスのあらゆる時の方向を決定しました。

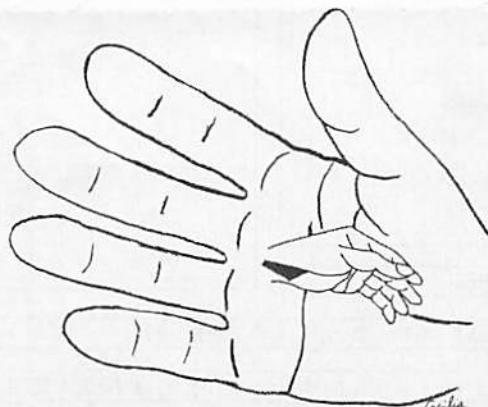
イエスがエルサレムの神殿で語った言葉にも、洗礼の時に聞こえた言葉にも、イエスが神の子であるという真理がはっきりと示されています。

確かにイエスにおいては、神との特別なかかわりが、いつもその生涯を貫き、明らかで自然な真実でした。

しかし、神の子であるというまさにその事実が、神との関係において、また人々や出来事との関係において具体化されます。イエスは神の子として行動することによって、本当の自分に出会って行きます。

イエスは、神から与えられた使命を果たすことによって、ご自分の本質を明らかに表現していかれたのです。

『私の食べ物とは、わたしをお遣わしになった方の御心を行い、その業を成し遂げることである』と。(ヨハネ4・34)



見よ、わたしはあなたを私の手のひらに刻みつける (イザヤ 49・16)

京都司教区人事一覧

2001年7月1日現在

京都北部

宮津ブロック
共同宣教司牧
網野 岩滝 加悦
丹後大宮 峰山 宮津
M. カリエ
横田志郎
谷口秀夫

舞鶴ブロック
共同宣教司牧
綾部 西舞鶴 東舞鶴
福知山 報恩寺
近藤 勉
N. レサール

滋賀

湖西ブロック共同宣教司牧
大津 唐崎 安曇川
瀧野正三郎 J. ラレス
湖東ブロック共同宣教司牧
草津 甲賀 彦根 長浜
J. ジャクソン ロー・ダム

京都南部

東ブロック共同宣教司牧
河原町 北白川 高野 山科
浅田年生 J. モンロイ F. オガンド
Y. ボアペール(協力) 小野十益(協力)
茨木 晃(協力) W. チネカ(協力)

北ブロック共同宣教司牧
衣笠 小山 西陣 西院
宇津 山国
花井拓夫 L. ホルスティンク
P. バラスバス

西ブロック共同宣教司牧
桂 九条 長岡 丹波
村上真理雄 福岡一穂 W. ポルセス

希望の家
J. ロベス

南ブロック

共同宣教司牧
伏見 桃山 八幡
東門陽二郎 L. ウォルケン

共同宣教司牧
田辺 精華 宇治 青谷
外崎 豊 北村善朗

教区長 大塚喜直
司教総代理 村上真理雄

司教館賃付 三宅秀和(カトリック学校専任) 上田 巍(神の園)
西野猛生(研修休暇)

奈良

北部ブロック共同宣教司牧
富雄 登美ヶ丘 奈良 大和郡山

松本秀友 P. ウィックス
S. ニュージェント K. ハンロン

南部ブロック共同宣教司牧
御所 西大和 大和高田 大和八木

K. タロク J. ウォルシュ
J. ヒル 一場 修(助祭)

福音センター J. ラレス(兼任)

三重

北勢ブロック共同宣教司牧
桑名 四日市 鈴鹿 亀山

A. バルデス 村上透磨 E. モンレアル

中勢ブロック共同宣教司牧
上野 名張 津 久居

R. ネリグ P. オヘール

南勢ブロック共同宣教司牧
伊勢 松阪

B. ニシムラ 柳本 昭 R. ザーン

青年センター 福岡一穂(兼任) 外崎 豊(兼任) 森田直樹(兼任)

国際協担当 P. オヘール J. ハメル 柳本 昭

学校法人担当 小野十益(兼任)

滞日ラテンアメリカ人司牧専任 B. ロハス(専任)

教区本部事務局 森田直樹 北村善朗(兼任)

(P. ウィックスと J. ウォルシュの着任は 2001年9月1日付)

ここにちはシスター

無原罪の聖母マリア

フランシスコ姉妹会

Sr ノラ・ハウリゲ(写真右)

Sr ユステラ・ガルシア(写真左)



Sr ノラはフィリピンから日本に来て九月で六年、Sr ユステラは四年になります。今奈良県の大和郡山教会に住んでいます。

私たちの修道会、無原罪の聖母マリアフランシスコ姉妹会は、一八四四年オランダ・ベッケルで創設されました。全世界で一〇〇〇人ほどのシスターが、オランダ、イングランド、フィリピン、タイ、そして日本とアフリカの修道院で活動しています。

Sr ノラはフィリピンから日本に来て九月で六年、Sr ユステラは四年になります。今奈良県の大和郡山教会に住んでいます。

私たちの修道会、無原罪の聖母マリアフランシスコ姉妹会は、一八四四年オランダ・ベッケルで創設されました。全世界で一〇〇〇人ほどのシスターが、オランダ、イングランド、フィリピン、タイ、そして日本とアフリカの修道院で活動しています。

日本語

フィリピンの人達は三重県にとても多く住んでおりますので、これからは津教会、鈴鹿教会、松阪教会などにお手伝いに出かけようとしています。

奈良県には五〇〇人くらいのフィリピン人がいますが、私たちが会っているのはこのうち二〇〇人くらいです。

同じ修道会のシスター二名が、西院カトリック会館において京都教区にはシスターは四名という事になります。西院のSr アルタ、Sr マルチは京都の「バガサ・フィリピノ共同体」の活動のお手伝いをしていますが、私たち奈良県に住むフィリピンの人達のお世話をしています。

司牧活動、七、家庭生活のための司牧活動、二、司牧の仕事、三、正義と平和のための仕事、四、先住民のための司牧活動、五、健康管理のため、六、移民者のための司牧活動、七、家庭生活のための司牧活動。

京都教区・外国語ミサ

英語ミサ (ENGLISH)

- SAIIN CHURCH 西院教会 ~PAG~ASA COMMUNITY 每週日曜日、PM 3:00
- Every Sun. 3 p.m.
- FRANCISCAN HOUSE Every Wed. 3 p.m.
- NISHI MAIZURU CHURCH Every First Sun. 3 p.m.
- KUSATSU CHURCH Every Fourth Sun. 2 p.m.
- NARA CHURCH Every Last Sun. 3 p.m.
- YAGI CHURCH Every Third Sun. 2 p.m.
- KORIYAMA CHURCH Every Wed. 3.30 p.m.
- TSU CHURCH Every Second Sun. 2 p.m.
- YOKKAICHI CHURCH Every Third Sun. 1 p.m.
- SUZUKA CHURCH Every Fourth Sun. 2 p.m.
- KAMEYAMA CHURCH Every Second Sun. 9 a.m.

韓国語ミサ (한국어 미사)

- 京都コリアン・カトリックセンター 第1日曜日 午前10時

スペイン語ミサ (ESPAÑOL)

- Iglesia de FUSHIMI 伏見教会 Segundo Domingo del mes 2 p.m. 第2日曜日、PM 2:00

Iglesia de KUSATSU

Tercer Domingo del mes 2.30 p.m. 第3日曜日、PM 2:30

Iglesia de NAGAHAMA

長浜教会

Cuarto Domingo del mes 2 p.m. 第4日曜日、PM 2:00

Iglesia de SUZUKA

鈴鹿教会

Segundo y Tercer Domingo del mes 2 p.m.

第2・3日曜日、PM 2:00

Iglesia de KAMEYAMA

龟山教会

Cuarto Domingo del mes 9 a.m. 第4日曜日、AM 9:00

Iglesia de TSU

津教会

Cuarto Domingo del mes 2 p.m. 第4日曜日、PM 2:00

Iglesia de YAGI

大和八木教会

Primer Domingo del mes 2 p.m. 第1日曜日、PM 2:00

Iglesia de NISHI YAMATO

西大和教会

Segundo Domingo del mes 3 p.m. 第2日曜日、PM 3:00

Iglesia de YOKKAICHI

四日市教会

Cuarto Domingo del mes 12 a.m. 第4日曜日、AM 12:00

Iglesia de UENO

上野教会

Tercer Sabado del mes 7.30 p.m. 第3土曜日、PM 7:30

ポルトガル語ミサ (PORTUGUES)

Igreja paroquial do KUSATSU

Segundo Domingo do mes 3 p.m. 第2日曜日、PM 3:00

Igreja paroquial do YOKKAICHI

四日市教会

Primer Segundo Domingo do mes 4 p.m. 第1・2日曜日、PM 4:00

Igreja paroquial do SUZUKA

鈴鹿教会

Todos los Domingos do mes 6 p.m.

毎週日曜日、PM 6:00

Igreja paroquial do KAMEYAMA

龟山教会

Primer Domingo do mes 9 a.m. 第1日曜日、AM 9:00

お
知
ら
せ

聖母の被昇天

8月15日(水)

教区委員会から

◆聖書委員会 電話075-(21

1)-3484

▼聖書深読11日(土)

北村善朗師10時~16時

場所 河原町カトリック会館

持用品 聖書・筆記用具・ノート

(各回お申込みは5日前までに)

▼聖書講座シリーズ8月は休み

(9月5日から再開)

▼聖書講演

会(三重カトリック協議会後援)

9月24日(月・振替休日)

場所 三重県カトリック研修館

講師 パトリック・オヘル師

テマ 聖書がかかる『いのち』の尊さ

持参品新旧約聖書・いのちへのま

なざし 会費 自由献金(五百円)

ぐらい)

▼教会の祈りと聖体贊美式 第一

日曜日17時30分河原町教会、第三

土曜日16時30分衣笠カルメル修道

会

◆青少年委員会▼教区中学生広島

巡礼 4日(土)~6日(月)

▼

(日) 14時 場所 河原町教会

中学生会夏の合宿 21日(火)~
23日(木) 場所 御所教会▼高
校生会夏の合宿 21日(火)~23
日(木) 場所 園部教会 上健次と大逆事件」3日(金)~
5日(日) 場所 新宮市(宿泊
高田グリーンランド)▼平和を求
めてーアレン・ネルソンが語りま
す~19日(日)13時半~15時半
場所 河原町教会地下ホール 参
加費 無料(会場でカンパをお願
いする)通訳つきアレン・ネル
ソン氏は、海兵隊でベトナム戦争
に参加、ある出来事に出会ってか
らクエーカー教団の平和委員会、
「沖縄駐留米軍を米国に連れ戻す
ネットワーク」などの活動中。非
戦と平和をブルースとギターの音
色とともに若者に伝えたいと願っ
ている。▼「キリストンと部落問
題」(人権教育資料No.7)発行

1999年京都と2000年長崎

の合宿研修をまとめたもの。著
者 結城了悟師他 定価六百円+

送料

◆京都南部カトリック協議会▼平
和旬間行事 国際平和ミサ12日

(日) 14時 場所 河原町教会

◆京都カトリック協議会▼平

和(日) 13時半 河原町会館6階

◆滋賀地区▼湖西プロック夏期学
校18日(土)~19日(日) 場所
メリノールハウス 小学生・中学生
対象 幼児・

◆草津教会▼小学生高学年侍者会
1日(水)~3日(金) 場所 メリノールハウス

◆大和八木教会 4日(土)~5日(日)
対象 小1~中1

◆河原町教会土曜学校練成会 9日(木)~11日(土) 場所 京都府日吉郡青少年山の家

対象 小2~小6

◆西陣教会▼夏季合同慰靈祭12日(日)~信睦二金会 8月はお休みです。

◆在世フランシスコ会京都兄弟会
8月は休み

◆聖ビンセンシオ・ア・パウロ会
19日(日)長崎

◆コーロチエレステ▼練習日第4、

第5木曜日10時~12時(第2木曜

日は8月は休み) 河原町会館6階

ホール

◆京都カトリック混声合唱団▼練

習日5日(日) 14時、25日(土)

19時 河原町会館6階

◆リトリートー・テゼ共同体の

ブランザーを迎えて一日数回のテ

ゼの音楽を用いた共同の祈りを中

心に、ブランザーのお話、分かち合

い、沈黙の時間など、エキュメニ

カルな集いです。テーマ「内なる

住まいを広げる」(イザヤ書54章)

日時 9月14日(金)~16日(日)

場所 関西学院千刈キャンプ(兵

テーマ「在日外国人の方々との相
互理解をめざして」

小

教

区

か

ら

諸

施

設

・

諸

活

動

か

ら

43) 2320

庫県三田市) 参加費 五千円 (+
自由献血)

主催 黙想と祈りの集い準備会
申込み・問合せ 075(711)
まで 3358 大河原(北白川教会)

お知らせ

◆「一万匹の蟻運動」基金報告
累計一九、〇八九、二四〇円
(6月19日現在)

◆電話番号情報コーナー

▼いのちの電話(相談窓口)
075(864)4343
0742(35)1000
052(971)4343
▼青年センター
電話 075(822)6246
FAX 075(812)6685
▼京都市東九条在宅介護支援センター(24時間体制)
075(662)3971

東京教区で
小教区再編成スタート
岡田大司教が東京教区ニュー
スにメッセージの全文を発表
(東京教区ニュース2001・
6・25第184号から)

教区委員会担当司祭

(6月号記事の追加・変更)
2001・6現在)

▼司祭評議会常任委員会

法人代表役員、法人責任役員
4名、地区長・顧問2名
谷口秀夫、K・タロク、R・
ネリゲ

▼司祭評議会

司祭評議会常任委員会委員全員及び地区選出

花井拓夫、浅田年生、中川博
道、J・ナドウ(京都南部)
近藤勉(京都北部)

J・ジャクソン(滋賀)

K・ハンロン(奈良)

村上透磨、E・モンレアル
(三重)

▼青少年委員会

滋賀地区担当 ロー・ダム
アジア体験学習担当 柳本昭

▼教区ホームページ担当者

瀧野正三郎、外崎豊

▼「アジア交流委員会」(KYO SIA)教区本部事務局預り

花井拓夫

良書紹介

私たちの信仰生活に、潤いと
希望を与える、分かりやすい良
書を紹介します。

「神様のイメージ」について、 「默想」について、それぞれ一冊ずつ選びました。編集者

「三分の默想」1

フェデリコ・バルバロ編
ドン・ボスコ社 1968

★黙想について

「かみさまへのてがみ」

谷川俊太郎 訳
葉祥明 絵

サンリオ 1977

★神様への手紙

人間、生命、自由、勇気、信
頼、苦しみ、あやまち、感謝、
憎しみ、友人、死、真理など、
数多くのテーマについて、聖人
や著名人、また、故事・ことわ
ざ、聖書の言葉などから短い文
章を抜き出し、その言葉を短い
時間で味わうことが出来るよう
に編集されています。

質問されて答えに戸惑ったこと
はありませんか? そのような
子ども達が書いた、純粹で素直
な心で表現した「神様のイメ
ージ」に、大人たちははっとさせ
られます。

どこのページから読み始めて
も読みやすく、私たちの良心に
響く文章がぎっしり詰まっています。信仰の助けになる言葉の
宝庫です。

ため息が出たときに、開いて
みてはいかがですか。ため息は
どこかへ行ってしまうはずです。
統編として『三分の默想』2も出版されています。

税別七百九十四円

大塚司教の

8月のスケジュール



- 4日(土) 比叡山平和の祈り 15時
 (田中司教出席)
- 4日(土)~6日(月) 教区中学
 生広島巡礼
- 5日(日) ヨハネ・パウロ2世教
 皇来日20周年日本司教
 団平和祈願ミサ
- 8日(水)~10日(金) 教区神学
 生合宿
- 12日(日) 教区一斉平和祈願ミサ
- 12日(日) 京都南部地区平和祈願
 ミサ 15時
- 15日(水) 聖母被昇天司教ミサ
- 27日(月)~29日(水) 教区・司
 祭修道者研修会

編集部からのお知らせ

◆ボランティア募集

京都教区時報のレイアウトをボランティアで手伝って下さる方を募集します。条件はパソコンが使え、Eメールを持っていて、毎月第3火曜日の午前10時~12時の編集会議に参加可能な方です。レイアウトは毎月交替で行っていただけ予定です。希望者は編集部のFAXにご連絡をお願いします。

◆「お知らせ」の掲載について

お知らせに載せたい情報は、月号でしたら8月20日までに、京都教区事務局内「京都教区時報」宛にお願いします。ご連絡いただいた内容について、お問い合わせする必要があることがときどきあります。お名前などだけで連絡先(電話番号など)が記載されていないことがあります。こちらからも問合せができるよう電話番号などの記載をお願いします。

青年の役割

西院教会

森 田

聰

最近に限ったことではないが、教会から青年が減っていると言っている。青少年育成が重要であるという認識は多くの人がもっているけれども、具体的なビジョンが示されているわけではない。逆に、それだけ自由に考えたらいいということかもしれない。ただ、青年は未熟である。思っている以上に未熟である。だから、みんなの支えや助言が必要なことは言うまでもない。しかし、次世代を担う者として、一人前の大人になるために、独立立ちすることも必要である。そのため心掛けようとしていることを三つ挙げる。

一つ目は、「知る」こと。世の中にあふれている様々なことを正しく判断するために、正しい知識を身につけることが重要である。そうしないと、自分に都合のいいものさしで自分勝手な判断をしてしまうと思う。人間として善いことと悪いことを見分けられる心をもつことが大切であると思う。二つ目は、積極的に「感じる」こと。普通は自分に都合のいいことだけに心を持つてしまいがちだけど、

楽しいこと、嬉しいことだけではなく、苦しいことや辛いことも積極的に感じて豊かな心をもつことが大切だと思う。無関心は一見何もしていないよう見えますが、実は、無言でそれを否定していることになり、卑怯な逃げ方をしてしまっているように感じる。だから、どんなことでも受け止められるような広く逃げ方をしてしまっているように感じます。だから、どんなことでも受け止められるよう広く逃げ方をしてしまっては、積極的に「伝える」こと。誰かにそれを伝えないと何も始まらない。いいことに限ったことではなく、悪いことなら悪いこと、辛いことなら辛いと伝えないと何もわからない。伝えないと、それが間違っていても、ずっと気づかずにはいることになってしまいます。

だから、自分で感じたことを、自分で判断して伝えることが大切だと思う。たった三つのことだけどなかなかこれができない。少しでもこれらのことを見掛けたときに、「これが私の福音宣教かもしれない」と思ふことが私の福音宣教かもしれない。